

第72回役員会 議事要録

日 時：平成27年9月17日(木) 14:00～15:00

会 場：大学本館 E-703会議室

出席者：石原理事長、近藤副理事長、利島理事、片山理事、梶原理事、松尾理事、江本理事
(オブザーバー) 中野(昌)監事、中野(利)監事、漆原副学長、柳井副学長

議 案

- 1 環境技術研究所の組織改正について

報 告

- 1 (株)スターフライヤーとの協定に基づく事業の実施状況について
- 2 第3期中期計画策定の取組みについて
- 3 平成28年度予算編成に向けた経営改善の取組みについて
- 4 教員の再任について
- 5 シリーズ北九大の挑戦 第3巻の発刊について

議案1 環境技術研究所の組織改正について

<質疑応答>

- 機能の拡充を図ったという事であるが、人員体制はどうなっているか。
- これまで環境技術研究所専任の教員はいなかったが、今年度、専任教員が5名となる。ひびきのキャンパス全体の教員数は78名と変わらないが、国際環境工学部の5つの学科からそれぞれ教員を移管している。ビジョン2013を基に、市の総合戦略にあった強化をしている。
- 学科に所属していた教員の枠を研究所付にし、軸足を研究所に置く。
- 研究員の中で、その他学長が指名するものとあるが、臨時的な運用によるサポートと考えているか。
- 外部資金で特任教員を配置する等して、柔軟に対応したい。
- 専任教員が増やせないため、外部資金を獲得しながら特任を配置していく必要がある。

【議長】提案のとおり承認してよろしいか。

【委員】異議なし

報告1 (株)スターフライヤーとの協定に基づく事業の実施状況について

<質疑応答>

- 企業との共同プロジェクトは、企業の方がこちらに来て講義を行うのか。
- 企業が抱えている課題を抽出し、学生がその課題解決を検討する授業である。たとえば、スターフライヤーが考えている若年向けのチケットに対するマーケティングについて、学生がプランニングし、企業に提案している。

報告2 第3期中期計画策定の取組みについて

<質疑応答>

- 中期目標及び計画の数について、第1期は市が約40の項目に対し、大学が169の中期計画を策定した。現行の第2期では、中期目標を14に絞っていただき、70項目の中期計画を確定した。それが第3期中期計画の基本と考えている。

報告3 平成28年度予算編成に向けた経営改善の取組みについて

<質疑応答>

- 目的積立金は第3期中期計画の期間に繰り越せるか。
- 原則繰り越せない。一度市に返すのが原則である。市が法人評価委員会に意見を求め、継承していいという判断になれば、繰り越しは可能である。
- 目的積立金の積み立ては中期計画の6年間で行うか。

- 6年間の間で積み立てを行い、一旦市に返却する。
- 外部研究費の獲得については、間接経費のみ計上しているか。
- そうである。
- 間接経費の割合はどのくらいか。
- 研究費の3割である。
- 知的財産収入はどのくらいか。
- 知的財産収入は、年間30万円程度である。
- 具体的には、ひびきのキャンパス教員の特許に対する使用料である。
- 特許の収入は大学と教員に入るか。
- 特許収入は研究室に入る。現在特許料の配分割合は研究室と大学で8：2の割合であるが、5：5に変更予定である。
- 今回、知的財産コーディネーターを雇用するので、今回の環境技術研究所の改組を機に、大学で知的財産の事務が実施できるようになる。

報告4 教員の再任について

<質疑応答>なし

報告5 シリーズ北九大の挑戦 第3巻の発刊について

<質疑応答>なし

- シリーズ北九大の挑戦は来年度中に全て出版されるか。
- 70周年である来年度中に全て出版予定であり、そこで一旦完結とする。